



社

協

っ

て



な

に

?

令和4年度幸手市社協ガイドブック< かんたん版 >



「社協ってなに？」 「どんな仕事をしているの？」
そんな声がたくさん聞かれます。

『社協をもっと知ってもらいたい！！』

社協がどんなところなのか、かんたんにご紹介します。

目 次

社協ってなに？	1
地域の福祉に関すること	3
高齢の方、障がいのある方に関すること	4
子どもたちに関すること	7
生活にお困りの方に関すること	9
団体への助成に関すること	13
いろいろといいことやってます	13
ボランティア活動に関すること	14
障害者自立支援施設に関すること	17

社協（しゃきょう）ってなに？



社協ってどんな団体なの？

社会福祉協議会を略して「社協」と呼んでいます。「社協」は全国の都道府県・市町村に設置されている団体で、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことができるまちづくりをめざし活動しています。



社協ってどんなことをしているの？

社協では、地域福祉や福祉事業の推進役として様々な福祉に関する活動を行っています。

急に、車イスが必要になって困っている。



サロンを始めたいけど、自分達だけでは不安…



ボランティアはどうすれば始められるの？



誰かに話を聞いてほしい。



生活が苦しいから、どこかに相談したい。

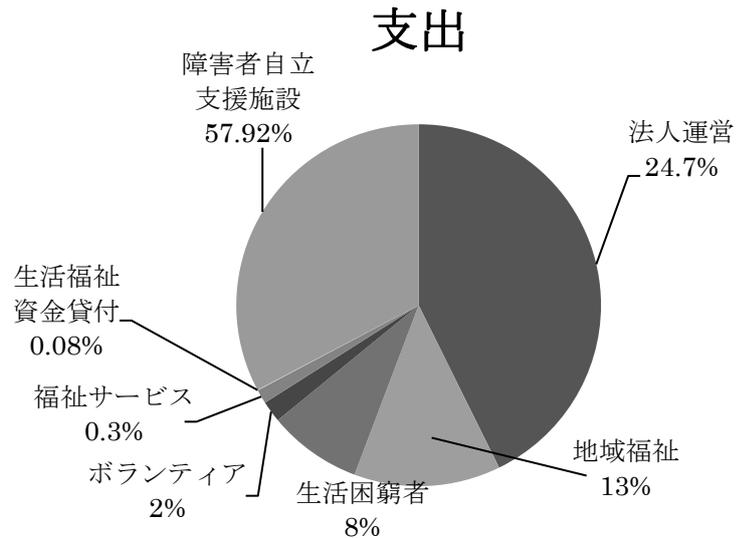
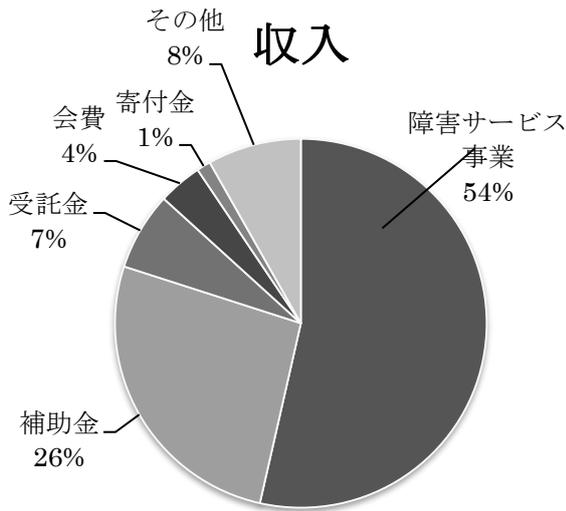


こんなときは、社協へ！！



活動するためのお金はどうしているの？

地域の皆さまからいただいた会費、寄付金、共同募金配分金、市からの補助金、受託金などが主な財源です。職員の
人件費は市からの補助金や受託金で賄われています。



社協会員募集

皆さまからいただいた会費は、高齢
や障がいのある方への福祉サービスを
はじめ社協の活動にとって、とても大
切な財源です。

ぜひとも会員となって社協の活動に
ご協力ください。よろしくお願いいたします。

会員の種類 (年額)	
一般会員	500 円
協力会員	1,000 円
特別会員	5,000 円以上



地域の福祉活動に関すること

(1) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

目的	内容	令和3年度実績
ともに支え合う地域社会を目指すため、地域のみなさんの交流の場を作ることを推進するもの。	サロン活動を支援するもの。 (年額3万円を限度額に、予算の範囲内で活動助成金を交付)	サロン活動助成事業 市内22サロンへ助成 高齢者 19件 幼児 1件 障がい者 1件 その他 1件
	活発なサロン活動を推進するためレクリエーション用具の貸し出しを行うもの。	レクリエーション用具貸し出し件数 2件
	サロン活動の活性化を目指し、ふれあい・いきいきサロン代表者会議を開催。	期日：3月9日(水) 場所：ウェルス幸手 参加者：15名



(2) 有償家事援助サービス事業（桜ふれあいサービス）

内容	サービスの種類	令和3年度実績
地域で安心して暮らせるように、住民の皆さんの参加と協力を得て、日常生活を送る上で必要な家事を有償で行うもの。	掃除、洗濯、食事の支度、買い物、話し相手、保育（送迎含む） 利用料 時間 700円～	利用会員 1人 協力会員 1人 活動日数 11日 活動時間 5.5時間



(3) 福祉機器・テントの貸出事業

内容	利用について	令和3年度実績
在宅（市内）で利用を希望される方に、車椅子、介護用ベッド、テントを貸し出すもの。	電動ベッド 利用料1,000円/月 *「要支援1・2、要介護1」の方、介護保険外の方が対象。 手動ベッド、車椅子、テント 無料 *ベッドの搬入・搬出費については、別途費用がかかります。	電動ベッド 利用者 27人 手動ベッド 利用者 20人 車椅子 長期継続者 144人 短期利用者（3箇月以内） 34人 テント 利用団体 なし

(4) 車椅子同乗車両貸出事業（地域福祉基金補助事業）

内 容	利用について	令和3年度実績
在宅で、車椅子を使用しなければ外出が困難な方に、車椅子のまま乗降できる軽自動車を貸し出すもの。	事前登録必要 貸出期間 3日以内 利用料 150円(10kmあたり) *燃料代として	登録者数 32人 利用回数 95回



高齢の方、障がいのある方に関すること

(1) 敬老会

共催：幸手市

目 的	内 容	令和3年度実績
多年にわたって社会に貢献されてきた高齢者に感謝し長寿を祝うもの。	市内の75歳以上の方をアスカル幸手にお招きし、アトラクションを楽しんでいただくもの。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



(2) 金婚祝品の贈呈

目 的	内 容	令和3年度実績
結婚50年を迎えたご夫婦を祝うもの。	申請されたご夫婦に、心ばかりの祝品をお贈りするもの。	記念品進呈 33組 (ペアマグカップ)



(3) ふれあいバスの旅事業

内 容	令和3年度実績
市内にひとりでお住まいの65歳以上の方を対象に、日帰りバス旅行を実施し、交流する機会を設けて、孤立防止を図るもの。 参加費 3,000円	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



(4) 配食サービス事業

内 容		令和3年度実績
ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方等で外出や調理が難しい方に、ボランティアが手作りのお弁当をお届けするもの。	月2回 第2・第4木曜日 (8月、12月第4週、 1月第2週は除く) ボランティアが自宅まで直接手渡しでお届けするもの。	実施回数 19回 (令和4年2月10日は大雪のため中止) 対象者 12人



(5) 傾聴ボランティア訪問事業

共催：幸手傾聴ボランティア・ピース

目 的	内 容	令和3年度実績
話し相手が欲しいと思っている高齢の方のお話を聴かせていただき、その方の心が穏やかに元気になることを目的にお手伝いするもの。	月1~4回程度 ボランティアが訪問し、1時間程度お話し相手をするもの。 費用 無料	利用者 中止3人、継続11人 延べ訪問回数 94回 担当ボランティア数 11人 ※本来は、個人宅を訪問して傾聴するが、コロナ禍限定で、電話での傾聴に切替えている。

(6) ふれあい電話サービス事業

共催：幸手ふれあい電話の会

目 的	内 容	令和3年度実績
不安や寂しさを抱える高齢の方と電話を通して交流し、安否確認を含め、社会との関わりを持っていただくことを目的とするもの。	70歳以上でひとり暮らしの方へ、毎週月曜日か水曜日の午前中にお電話するもの。 費用 無料	利用者 月曜日 19人 水曜日 14人

(7) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

内 容	サービスの種類	令和3年度実績
物忘れのある高齢者や知的・精神障がいのある方が、地域で自立した生活が送れるように、暮らしに必要なお手伝いをするもの。	基本事業：福祉サービス利用援助 選択事業：日常の手続き援助 日常的金銭管理 書類等預かりサービス H31.4月より 一部利用料助成	延べ相談等件数 83件 新規契約件数 4件 解約件数 4件 次年度継続件数 12件 延べ活動件数 191件

(8) 安心カード配付事業

目的	内容	令和3年度実績
ひとり暮らしの高齢の方などが、地域で安心して暮らせることを目的に安心カードを配付するもの。	ひとり暮らしの高齢の方などの急病又は事故等の際に迅速に関係機関に連絡できる「連絡用カード（安心カード）」を配付。	配付枚数 296枚

(9) 音訳朗読・点訳サービス事業

主催：朗読VG幸手（音訳朗読サービス）、点字あゆみの会（点訳サービス）

目的	内容	令和3年度実績
視覚障がいのある方が、必要な情報を取得できるように、お手伝いするもの。	市内の視覚障がいのある方を対象に、広報紙（市、社協）、タウン誌を複写した音訳朗読CDや点字印刷物を送付。	音訳朗読利用者 （当初）11人（年度末）9人 点訳利用者 （当初）7人（年度末）6人

(10) 介護者慰労事業

目的	対象となる方	令和3年度実績
障がいのある家族をご家庭で介護されている方の慰労を目的に、食事会を実施するもの。	会員の方で、令和4年6月1日現在、在宅介護者手当を受給されている方で、希望される方	参加者 11人 *新型コロナウイルス感染症の影響により、市内飲食店にて食事会を開催

(11) 利用者とボランティアの交流事業

目的	対象となる方	令和3年度実績
ふれあい電話サービスを利用される方や音訳朗読・点訳サービス等を利用される障がいのある方と、ボランティアの交流を目的としたもの。	ふれあい電話サービス利用者 音訳朗読サービス利用者 点訳サービス利用者 サークル青空利用者	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(12) グラウンド・ゴルフ プラチナ大会

共催：幸手市・幸手市教育委員会

目的	対象となる方	令和3年度実績
グラウンドゴルフ大会を通して、健康づくり及び地域のコミュニケーションを図るもの。	75歳以上の方	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

こどもたちに関すること

(1) 赤ちゃん用品券配付事業

目的	内容	令和3年度実績
お子様が満1歳を迎えるまでの世帯に赤ちゃん用品券を配付することで、出産をお祝いし、経済的支援を図るもの。	会員世帯で申請された方に、赤ちゃん用品券2,000円分を配付し、指定された店舗で、期間内に物品を購入できるもの。	申請者 37人 

(2) 福祉協力校の推進

目的	内容	令和3年度実績
小中学生が、体験を通じながら福祉への理解と関心を高め、地域との関わりを深めることを目的に、福祉協力校を指定するもの。	市内の小中学校に福祉協力校として、福祉活動経費を助成するもの（3万円）	小中学校 12校

(3) 団体への助成

目的・内容	令和3年度実績
自主的な社会福祉活動を実施する団体に、地域福祉の増進を目的として、また、ボランティアグループの活動を支援する目的で助成金を交付するもの。	幸手子育て支援ねっとわーく 60,000円

(4) 小・中学生ボランティア活動作品募集

目的	内容	令和3年度実績
小・中学生の福祉への理解と関心を高め、思いやりの心を育むことを目的に、ボランティア活動に関する標語を募集し啓発するもの。	小学生(5年生以上)と中学生(1・2年生)を対象とし、標語を一人1点募集 選考会で審査を行い、健康福祉まつりで入選結果を発表	応募作品数 801 作品 最優秀賞 4 作品 優秀賞 11 作品

(5) 第40回幸手市健康福祉まつりの開催

目的	内容	令和3年度実績
市民の健康及び福祉意識や社会貢献意識を啓発することにより、市民の関心と理解を高めることを目的に開催するもの。	パネル展示による活動紹介	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

生活にお困りの方に関すること

(1) 生活福祉資金の貸付（埼玉県社会福祉協議会受託事業）

①総合支援資金の貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
失業などによって生活に困窮している人が、貸付けを行うことで生活を立て直し、経済的な自立が見込まれる世帯に貸し付けを行うもの。	生活支援費 生活再建までに必要な生活費用 住宅入居費 敷金など住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用 一時生活再建費 生活再建に一時的に必要で日常生活費では賅えない費用	相談件数 0件 申込件数 0件 貸付件数 0件 貸付残件数 16件

②福祉資金の貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
低所得世帯、障がい者・高齢者世帯に対し、必要な資金の貸し付けを行うもの。	福祉費 日常生活や自立した生活のため一時的に必要と見込まれる各種費用 緊急小口資金 緊急かつ一時的に生計困難となった場合の費用	相談件数 1件 申込件数 1件 貸付件数 1件 貸付金額 100,000円 貸付残件数 7件

③教育支援資金の貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
低所得世帯に属する方の、高等学校、大学、高等専門学校への就学経費の貸し付けを行うもの。	教育支援費 高等学校等に就学するのに必要な経費 就学支度費 高等学校等の入学に際し必要な経費	相談件数 0件 申込件数 0件 貸付件数 0件 貸付残件数 2件

④不動産担保型生活資金の貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
不動産を有し、その住居に住み続けることを希望する高齢者世帯・要保護の高齢者に対し、生活費の貸し付けを行うもの。	不動産担保型生活資金 対象：低所得の高齢者世帯 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 対象：要保護の高齢者世帯	相談件数 0件 申込件数 0件 貸付件数 0件 貸付残件数 0件

⑤臨時特例つなぎ資金の貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けを行うもの。	臨時特例つなぎ資金（10万円以内）	相談件数 0件 申込件数 0件 貸付件数 0件 貸付残件数 0件

⑥緊急小口資金の特例貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ貸し付けを行うもの。	緊急小口資金（20万円以内）	申込件数 116件 貸付件数 113件 貸付金額 22,200,000円

⑦総合支援資金の特例貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活が困窮してしまった世帯へ生活再建までの間に必要な生活費用の貸し付けを行うもの。	総合支援資金 【貸付上限額】単身世帯：45万円以内 二人世帯以上：60万円以内	申込件数 118件 貸付件数 114件 貸付金額 63,150,000円
	総合支援資金（延長貸付） 【貸付上限額】単身世帯：45万円以内 二人世帯以上：60万円以内	申込件数 30件 貸付件数 30件 貸付金額 15,900,000円
	総合支援資金（再貸付） 【貸付上限額】単身世帯：月45万円以内 二人世帯以上：月60万円以内	申込件数 105件 貸付件数 105件 貸付金額 57,190,000円

⑧埼玉県障害者福祉資金の貸付

内 容	資金の種類	令和3年度実績
障害者（児）施設開設・または既存の施設の増築に要する経費の貸し付けを行うもの。	新規施設開設費 開設に伴う建築物の購入等及び備品購入に要する経費 既存施設整備費 既存施設の増・改築等及び備品購入に要する経費	相談件数 0件 申込件数 0件 貸付件数 0件 貸付残件数 0件

(2) 生活困窮者自立支援事業 (市受託事業)

目的	内容	令和3年度実績
生活困窮者の自立に向けた支援を行うことにより、課題の解決や自立の促進を図るもの。	自立相談支援事業 生活にお困りの方が生活保護に陥らず、自立した生活が送れるように、相談を受ける。	新規相談件数 173件 延べ支援件数 320件 支援計画作成数 0件
	住宅確保給付金 離職等により経済的に困窮し、住まいを失うおそれのある方などに家賃相当額を支給する。	相談件数 11件 申込件数 0件

(3) 彩の国あんしんセーフティネット事業

内容	支援方法	令和3年度実績
社会福祉法人と連携して生活に困っている方の支援を行うもの。	相談支援 経済的援助(現物支給10万円以内)	支援件数 0件 支援金額 0円

(4) 幸手市福祉資金の貸付

目的	内容	令和3年度実績
一時的な生活困窮者に対し、必要な資金の貸し付けを行うもの。	1世帯につき3万円以内(原則) 償還期限 1年以内 	相談件数 14件 申込件数 14件 貸付件数 14件 375,000円 徴収不能 0件 0円 徴収不能引当金 276,000円 期末貸付残額 508,500円 本年度償還額 405,000円

(5) 行旅人旅費の貸付

目的	内容	令和3年度実績
所持金がなく旅費等に困窮している行旅人の応急的需要のため、法外援護費(300円以内)を貸付けるもの。	生活保護法の適用を受けられない行旅人を対象	行旅人旅費貸付人数 0人

(6) 歳末たすけあい配分金事業

目 的	内 容	令和3年度実績
新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員の協力を得て歳末たすけあい募金の配分金を原資とした慰問金等をお贈りするもの。	歳末慰問事業 (住民税が課税されていない世帯で対象となられた方に慰問金を贈呈)	48件 1,335,238円 内訳 慰問金 1,299,000円 手数料 24,600円 消耗品 11,440円 通知等郵送料 198円
	歳末福祉事業 (対象世帯：上記を申請された世帯のうち、ひとり親世帯、65歳以上の単身高齢者世帯に贈呈)	62件 484,720円 内訳 図書カード 49件 98,000円 入学祝金 12件 380,000円 大掃除 1件 6,720円

(7) 心配ごと相談所事業

目 的	内 容	令和3年度実績
日常生活の中での悩みや心配事を、一日でも早く解決することを目的に、相談員3名が相談に応じるもの。	毎月第2・第4木曜日 (国民の祝日、年末年始を除く) 午後1時~4時	相談人数 16人 相談件数 20件

団体への助成に関すること

目的	内容	令和3年度実績
社協が実施する事業活動への協力及び自主的な社会福祉活動を実施する団体に、地域福祉の増進を目的として、活動助成金を交付するもの。	提出された申請書に基づき、事業活動の内容等を勘案し、助成金の交付を決定するもの。	助成団体 幸手市民生委員・児童委員協議会、 幸手市遺族会、幸手市老人クラブ連 合会、幸手市聴覚障害者協会

いろいろといいことやってます

回収品	回収場所	内容・令和3年度実績
ペットボトルキャップ	市役所1階 ウェルス幸手	世界の子供たちへワクチンを届けるもの。 *キャップ1,720個でポリオワクチン1人分 令和3年度実績 229,190個 総重量533kg ワクチン 約53.3人分が集まりました。
ベルマーク	市役所 ウェルス幸手 中央公民館	市内の小中学校へ寄付するもの。
使用済み切手 書き損じハガキ	ウェルス幸手	社会福祉法人日本失明者協会 養護盲老人ホームひとみ園様へ寄付するもの。
不要入れ歯 (金属のついている ものを回収)	市役所1階入口 ウェルス幸手 老人福祉センター 西公民館1階	入れ歯に使用されている金属をリサイクルして、福祉活動に役立てるもの。 入れ歯寄付 令和3年度実績 38,883円

ボランティア活動に関すること

ボランティア・市民活動センターの仕事

事業	目的	内容・令和3年度実績
ボランティア講座 ・講習会の開催	手話講習会（市受託事業） 意思疎通に障がいがある方の日常生活支援のため、手話奉仕員を養成するもの。	入門課程 期 日 7月8日～12月23日 回 数 21回 場 所 ウェルス幸手 修了者 8人 レベルアップ課程 期 日 7月29日～12月16日 回 数 20回 場 所 ウェルス幸手 受講者 7人 ※新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言延長のため、2講以降中止
	音訳朗読講習会 広報紙等の音訳や対面朗読の技術の習得・向上を図ります。  講義	講習会（初級）の開催 期 日 10月11日～11月29日 回 数 6回 場 所 ウェルス幸手 受講者 7人
	初めてのボランティア （彩の国ボランティア体験事業） ボランティア活動に関心がありながら、参加できなかった方へ様々な体験プログラムを用意し、活動への参加促進を図るもの。	期 日 7月21日～12月12日 受入依頼施設（団体等） 【こども関係施設体験】※50音順 学童保育室たけのこ、児童館、第1保育所、てんじん保育園、 【障害福祉サービス事業所体験】 幸手学園、 放課後等デイサービス あそび場☆まなび場 【点字体験】 点字あゆみの会

		<p>【手話体験】 幸手市聴覚障害者協会、 幸手市手話サークル 「ハッピーハンズ」</p> <p>【災害に備える講座】 自衛隊埼玉地方協力本部</p> <p>【地域のボランティア・市民活動 団体等の活動体験】 ※50音順 NPO 元気スタンド 幸手子育て応援まつり実行委員会 さって市民環境ネット 幸手宿観光ガイドの会 助町環境整備組合 「なでしこ」 人形劇クラブ幸手エイト ハッピーマザーズ 藤倉孝治氏と同窓生の皆さん、 ボランティアグループ・ 幸手おもちゃの病院 May' s garden</p> <p>【ふれあいいいききサロンの活動体験】 みどり会</p> <p>受講者 85 人</p>
福祉教育	さまざまな人々が、共に地域で幸せに暮らしていくためにどうしたらよいか、体験や交流を通じて学び、理解を深めるもの。	体験学習の指導者の紹介 体験用の白杖、点字器、車椅子、福祉ビデオの貸出 ※アイマスクは、貸出中止
ボランティア保険	ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の加入手続きを行うもの。	活動保険 358 人 行事用保険 2,395 人
ボランティア相談	ボランティアをする人の登録、ボランティアを必要としている人の相談をお受けするもの。	相談日 月曜日～金曜日 相談件数 44 件 内 訳 活動件数 7 件 依頼相談 37 件
災害ボランティア登録制度	災害ボランティアセンターを設置した際、迅速な活動を行えるようにボランティアの登録・研修を実施。	登録者 29 人
災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施	大規模災害発生に備え、災害ボランティアセンターの運営及び組織力の向上を図ることを目的に実施。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

<p>災害ボランティア 研修会</p>	<p>大規模災害が発生した際にボランティアの支援活動を効果的に結びつけるため、災害の意識を高めることを目的に開催。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>
<p>ボランティア団体 への助成</p>	<p>社協に登録しているボランティアグループが安定・継続して活動できるよう支援するため助成金を交付。</p>	<p>助成金の交付 活動助成金 13 団体 165,789 円</p>

障害者自立支援施設に関すること（市指定管理施設）

施設	内容・令和3年度実績
さくらの里	<p>就労継続支援B型（定員：20人、令和3年度利用者数20人） 就労・生産活動の機会の提供、知識や能力向上のための訓練・支援を行うもの。 内職作業や、自主製品（革工芸等）の製作等を実施。施設外では、公共施設の清掃や一般企業の倉庫内で作業を実施。 令和3年度 さくらの里 月平均工賃 16,835円 【参考】令和2年度埼玉県就労継続支援B型事業所 月平均工賃 15,776円</p>
なのはなの里	<p>生活介護（定員：16人、令和3年度利用者数16人） 食事等の介護、日常生活上の支援、創作活動の機会の提供、身体能力の維持・向上のための支援を行うもの。</p>

さくらの里



なのはなの里





社会福祉法人幸手市社会福祉協議会

〒340-0152 幸手市大字天神島1030番地1 (ウェルス幸手内)

TEL 0480-43-3277 FAX 0480-40-1460

E-mail syafuku@satte-syakyo.or.jp

URL <http://www.satte-syakyo.or.jp>

